

1,平成30年度事業報告書(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

平成30年度の活動といたしましては、平成30年4月1日より、伝統木造技術文化遺産準備会が更なるユネスコ無形文化遺産登録への活動推進のため当法人に合流いたしました。文化庁や政府、国民の皆様にも少しでも、広い範囲でのユネスコ登録を目指し、「庭屋一如」の理念をもって、建築と庭園、石垣の技術や文化を総称して「普請文化」と呼称し、修理保存だけでなく新築の伝統技術も含んだ理念の周知を目的とした事業活動を中心に展開してまいりました。また、「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」が、ユネスコ無形文化遺産への提案案件として、昨年末に引き続き、再度一部修正して再提案されることが平成31年2月25日に無形文化遺産保護条約関係省庁連絡会議において決定しました。2020年11月頃に記載の可否が審議される予定です。

① 主催イベント

・2018/4/28 普請文化フォーラム2018

共催：公益社団法人ソーシャルサイエンスラボ

会場：明治大学アカデミーホール

基調講演「和風建築の伝統的な価値を巡って」

講師：内田祥哉

特別講演「加藤清正の名城 熊本城の大普請 ～ 4.16 あの熊本地震から2年～」

講師：千田嘉博

パネルディスカッション 「伝統建築技術の継承・活用で切り拓く日本の未来」

座長：後藤治

パネラー：島崎英雄、進士五十八、小林正美、飯田 泰之

参加者：約1000名

・2018/4/29 「世界に誇る日本建築の匠の技を世界無形文化遺産に」八戸フォーラム2018

共催：NPO 法人 あおもりの木で地域を支える伝統と技術の会

会場：八戸グランドホテル

基調講演「伝統技術の粋を傾注した京都迎賓館」

講師：佐藤義信

参加者：約200名

・2018/11/23 明治大学アカデミックフェス2018 シンポジウム

「～Discovering Japanese Culture～ 日本の伝統建築の魅力とその理由」

会場：明治大学アカデミーホール

基調講演『日本の面影：匠の美意識と建築』

講師：Everett Kennedy Brown

パネルディスカッション

コーディネーター：飯田 泰之

パネラー：Everett Kennedy Brown、 Azby Brown

小川 三夫、 鳥賀陽 百合

参加者：約 300 名

② 関連・参加イベント

・ 2018/8/30～31 第 52 回全国建具展示会 さいたま大会@大宮ソニックシティ
ブース参加

・ 2018/11/10～1 第 34 回 全国削ろう会 久留米大会
ブース参加

貸借対照表

平成31年 3月31日

一般社団法人 伝統を未来につなげる会

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動性資産	【 127,308】	流動負債	【 26,055】
現金預金	61,263	未払費用	0
商品	66,045	前受金	9,000
前払費用	0	預り金	17,055
		短期借入金	0
固定資産	【 0】	正味財産の部	
有形固定資産	(0)	正味財産	【 101,253】
		一般正味財産	101,253
無形固定資産	(0)		
商標権	0		
投資等	(0)	(うち当期利益)	(-2,298,748)
資産合計	127,308	負債及び資本合計	127,308

損 益 計 算 書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月 31日

一般社団法人 伝統を未来につなげる会

(単位:円)

科 目	金	額
経常利益の部		
(営業損益の部)		
グッズ販売収入	536,256	
懇親会参加収入	523,000	
会費収入	1,811,800	
寄付金収入	2,001,280	
関連イベント会費収入	489,200	
売上高計		5,361,536
売上原価		
期首商品棚卸高	0	
当期商品仕入高	437,714	
合 計	437,714	
期末商品棚卸高	66,045	
売上原価計		371,669
売上総利益		4,989,867
販売費・一般管理費		7,378,616
営業利益		-2,388,749
(営業外損益の部)		
営業外収益		
受取利息	1	
雑収入	90,000	
営業外収益計		90,001
営業外費用計		0
経常利益の部		-2,298,748
(特別損益の部)		
特別利益計		0
特別損益計		0
税引前当期利益		-2,298,748
法人税、住民税及び事業税		0
当期一般正味財産増減額		-2,298,748
一般正味財産期首残高		2,400,001
一般正味財産期末残高		101,253

監査報告書

私監査役は、平成30年4月1日から平成31年3月31日
までの平成30年事業年度の貸借対照表、収支計算書に関
する議案及び附属明細書を監査しました結果、適法かつ正確
であることを認めます。

令和 1年 5月 7日

監事

黒田 純吉

印



監事

溝端 浩人

